

校長あいさつ

昭和33年2月、西彼杵郡矢上村、北高来郡古賀村、戸石村が合併し東長崎町が誕生し、その年の4月1日に矢上中学校、古賀中学校、戸石中学校の3中学校が統合し、「東長崎町立東長崎中学校」として本校は創立しました。その後、昭和38年に東長崎町の長崎市との合併により、「長崎市立東長崎中学校」となり現在に至っています。

この開校にあたり、制定された校歌には、「戸石の佳景 古賀文化 矢上の古事に 結ばれて」と歌われ、同じく校章には、「東」の文字の周りに学校を表す「文」の字を図案化した3つの輪で囲んでいます。このように東長崎中学校の創立の経緯が今も伝えられています。

開校時(昭和33年度)の生徒数は867名でしたが、東長崎地区の人口増加に伴い、昭和61年度には、生徒数1346名の生徒数となりました。

翌昭和62年度に戸石地区、かき道地区を校区とする橋中学校が新設されました。

現在の東長崎中学校は、長崎市内で最も生徒数の多い学校であるとともに、平成26年4月に校舎が新築され、平成27年9月には「新グランド」が完成し、生徒数に対応した恵まれた教育環境が準備されています。

本校の教育活動については、校訓「自主」「親和」を基調として、「自主的に判断し行動できるとともに、他者との関わりを大切にして協働できる生徒の育成」の学校教育目標の下に日々の実践に取り組んでいます。

また、学校スローガン「東長崎 PRIDE！」(ひがながびらいど)～「自らに誇りと自信を持ち、率先して行動する」～を定めました。校訓や学校教育目標と具現化していくための学校スローガンです。この設定については、自主性のある人は、自分自身に誇りや自信があり、それが行動として表れることを念頭に置いています。

今後の変化の激しい世界においても、変化に対応し活躍できる自主性と協働性を持った人材育成に努めます。

長崎市立東長崎中学校長 川本哲也